

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その1）

学校番号 29

評価実施日	令和3年2月18日（木）		
委員	氏名	所属等	備考

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担当教員によって授業の充実度、熱意に大きく差があるという声を聞いた。 ・先生方は、生徒自らが主体的に学ぶ授業への工夫をされている。一方、その学びを深めるための家庭学習（自学）は不十分と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学力観やICT機器の導入など、指導内容と指導方法がともに急激に変化していく中で、現時点においては教員間にバラつきがあることは否定できない。しかし、何とかその変化に対応していくために努力、工夫をしていることも事実である。教員間で「学び合う」機会を増やすことを計画する。 ・生徒の進路希望が多岐にわたっており、一律な課題による家庭学習には限界がある。したがって、自発的な学習を引き出すための普段からの指導を重視していく。
<p>(2) 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の生徒のあいさつは、3年間を通してみると年々少なくなっていると感じた。清掃への意欲は感じない。 ・あいさつ、時間や服装のけじめ等々、先生方の指導は十分にできている。また、生徒もそれに応えようとしていると考える。 ・思春期真っ只中の生徒たちへの指導はたいへんだと思います。特に生徒理解への取組が本校（北伊予中）も課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつが少なくなっているのは、コロナ禍の影響で、大きな声を発する場面が制限された影響が大きい。周囲に気持ち良く思われるあいさつは、会釈等の行動でも示せることを学校生活のあらゆる場面で徹底していきたい。 ・生徒からの要望や相談を気軽に受け入れる体制ができつつある。必要事項は早急に教員間で情報共有し、問題行動の未然防止に役立っている。クラス担任、学年団、教育相談担当、人権・同和教育課、部活動顧問とこれまで以上に緊密に連携し、生徒理解に努めたい。
<p>(3) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による弊害だと思います。終息すれば、活動の幅も再び広がり充実したものになると期待します。 ・コロナ禍において運動会時短実施や奉仕活動への生徒参加など、可能な範囲での新たな試みは評価される点だと思う。 ・今年度は新型コロナウイルス感染予防を第一に考えなければならないことがあり、いたしかたないと思う。 ・コロナの影響で評価が低くなっているのはしょうがないと思います。できる範囲で生徒さんは頑張られていたのではないでしょう 	<p>学校行事は本校の大きな魅力の一つである。コロナ禍ではあるが、できる限り感動・充実、主体性、連帯感を体験させられるような運営のあり方を考え、生徒の成長につなげていきたい。</p> <p>部活動についても、指導方法の工夫・研究を行い、限られた活動の中でも達成感・充実感を得られるようにしていきたい。</p>

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その2）

学校番号 29

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> webの利用を充実させて、保護者への情報提供に活用してもらいたい。 「こんな自分になりたい」という夢や希望を生徒の心の中に育てていくことが中学校でも大きな課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A総会や保護者懇談期間、サタデースクール等を利用し、保護者と生徒と一緒に学べる進路に関する企画を設けていきたい。 学校のHPに進路関係の行事の案内や活動内容の報告を随時掲載し、生徒だけではなく保護者にも進路について関心を持ってもらう機会を可能な限り設けていきたい。 卒業生による進学体験フォーラムや現役大学生・社会人（卒業生）を招いての座談会を実施することで自己の可能性を実感させたり、進路目標達成の意欲向上につなげたりしていきたい。 ベネッセやリクルート等の進学やキャリア教育を専門的に行っている業者の講習会や講演会を実施することで、個々の進路目標に応じた進路研究ができるスキルを生徒自身に身に付けさせたい。
<p>(5) 人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> トラブルに対しては真摯に対応してもらえていると思う。 「先生は、生徒の発言などを大切にしていると思いますか」に対して9割程度の生徒が肯定的評価をしているのは素晴らしいと思います。 	<p>今後も生徒に寄り添った指導に心がけ、成長を支援していくことについて、教職員全体の共通理解を図って進めていく。</p>
<p>(6) 読書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 長文を読む訓練にもなりますので、ぜひ続けてほしいです。 読書を推進する活動は引き続き行ってほしい。活字は大事。 探究活動は質の良い読書によって支えられると考える。今後も授業と読書を結び付ける指導を充実させていくとよいと思われる。 	<p>生徒図書委員会の活動が昨年度以上に活発になり、貸出冊数の目標を早期に達成することができた。今後も生徒から生徒へ読書と呼び掛ける取組をしていきたい。また、探究活動に必要な書物については担当教員からの購入希望を募り、できる限り揃えられるようにしていきたい。</p>
<p>(7) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> HPのみでの報告・伝達には限界が感じられ、新たなSNSツール活用の試行期間であろうと思う。その成果を今後に期待する。 伊予高校の「総合科目選択制」と「探究活動の充実」という改革の柱を更に推進していくとよいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度はYouTubeやLINEを用いた情報発信に取り組んだ。また、保護者への連絡手段としてエルガナも利用している。まだ手探りではあるが、生徒や保護者のニーズに応えられるように努めていきたい。 教職員間で改革の趣旨を共有し、単なるシステムではなく、より高いレベルの教育活動の推進に努めていきたい。